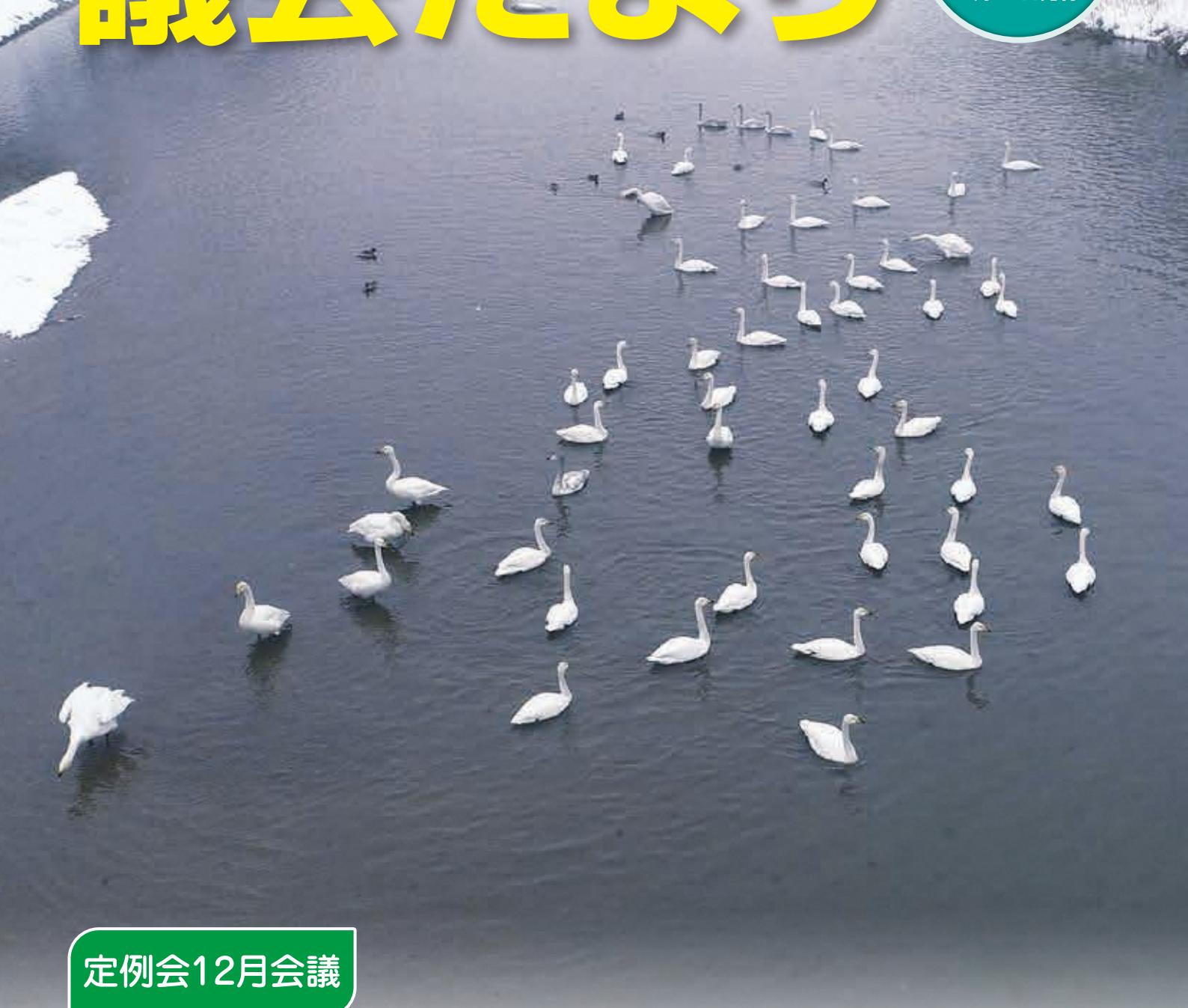




おのまち 議会だより

177号

令和6年
2月28日発行



定例会12月会議

4 ページ 議案と各議員の賛否

10 ページ 議会活動トピックス

5 ページ 町政を問う！4人が一般質問

11 ページ 議会活動日誌

夏井川に飛来した白鳥

定例会12月会議

12月7日～13日



▲本会議の様子

令和5年小野町議会定例会12月会議は、12月7日から13日まで7日間の日程で開かれました。

会議では、令和5年度一般会計補正予算、条例の一部改正など9件の町長提出議案と、議員提出議案2件が提出され、議案をすべて原案のとおり可決しました。

また、4名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考え方をただしました。

令和5年度 各会計補正予算

令和5年度一般会計並びに各特別会計等の補正予算について審査しました。

各会計の補正予算額及び補正後予算額については、右表のとおりです。

会計区分	補正額	補正後予算額
一般会計	2924万円	62億3632万円
特別会計	国民健康保険	804万円
	介護保険	118万円
	浄化槽整備推進事業	11万円
会水道事業	収益的収入	76万円
	収益的支出	209万円

※1万円未満切り捨て

笑顔とがんばり子育て応援金の受給資格要件と支給額の見直しを行うため、所要の改正を行うものです。受給資格届の継続居住要件期間を廃止するほか、出生順位に応じた支給額の差異を無くし一律10万円を支給するものです。この条例は令和6年1月1日から施行し、第3子以降の支給額15万円については経過措置を設け令和7年1月1日から一律10万円の適用をするものです。

◆小野町笑顔とがんばり子育て応援 条例を一部改正

子ども子育て支援の一環として、産前産後期間における国民健康保険税の一部を免除するものです。国保世帯の中に出産被保険者がいる場合、その出産被保険者に係る所得割及び均等割額を一定期間免除するものです。

◆小野町国民健康保険税条例を一部改正

◆職員の給与に関する条例を一部改正

令和5年10月3日付福島県人事委員会の職員の給与に関する勧告を踏まえ、福島県に準じて所要の改正を行うものです。給与は令和5年4月1日から、期末手当及び勤勉手当は令和5年12月1日から適用するものです。

条例の一部改正

人事案件

◆小野町教育委員会の委員の任命について

同意を求めるについて

任期満了に伴う教育委員の任命について、議会の同意を求められ、全員賛成で同意しました。

議員提出議案

◆意見書の提出

陳情採択に伴い、意見書を内閣総理大臣等に提出するについて提案したものです。

○健康保険証廃止の中止を求める意見書について

議案提出者：曾田 百合子 議員

意見書提出先：内閣総理大臣、厚生労働大臣、総務大臣、デジタル大臣

○すべての医療・介護従事者の処遇改善と人員増を求める意見書について

議案提出者：中野 孝一 議員

意見書提出先：内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、総務大臣

12月第1回会議開催

12月26日に令和5年小野町議会12月第1回会議を開催し、次の議案を可決しました。

補正予算

歳入では、物価高騰対応重点支援地

方創生臨時交付金、歳出では物価高騰対応重点支援給付金及び事務費のか、第2弾小野町応援商品券支給業務委託料を計上するなど1億352万円を増額するものです。

条例の一部改正

条例の一部改正2議案を

可決しました。

主な改正内容は次のとおりです。

◆町長等の給与及び旅費に関する 条例の一部を改正

福島県人事委員会の職員の給与等に関する報告及び勧告に基づき、特別職の期末手当の改正を行つものであります。

◆議会議員の議員報酬、 期末手当及び費用弁償に関する

条例の一部を改正

福島県人事委員会の職員の給与等に関する報告及び勧告に基づき、議会議員の期末手当の改正を行つものであります。



審議した議案と各議員の



・賛成が「○」、反対は「×」と表示します。

・田村弘文議長は採決に加わりません。

会議名	提出区分	議案名	可否	會田百合子	中野孝一	緑川久子	先崎勝馬	会田明生	吉田康市	宗像芳男	水野正廣	久野峻	竹川里志
定例会 12月会議	町長	令和5年度小野町一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和5年度各特別会計等補正予算 3件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和5年度水道事業補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町笑顔とがんばり子育て応援条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町教育委員会の委員の任命につき同意をもとめることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員	健康保険証廃止の中止を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員	すべての医療・介護従事者の処遇改善と人員増を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月 第1回会議	町長	令和5年度小野町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※提出区分欄の「町長」は町長提出議案、「議員」は議員提出議案を示します。

※紙面の関係上、予算決算関係議案と人事議案は集約して掲載しています。個々の議案名は小野町議会のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。

4人の議員が一般質問

町政を問う

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。
掲載されていない質問項目の内容等は、小野町議会のホームページに掲載します。
「会議録」をご覧ください。(3月掲載予定)

緑川 久子 議員 6ページ

- 1 「小野町立日本語学校」開設の検討について
 - ・町が運営するには課題も多く、経営上のリスクも大きい、再考を
- 2 児童・生徒の「目の健康」について
 - ・長時間のデジタル端末(スマホ・タブレット等)の使用における指導について

会田 明生 議員 7ページ

- 1 農用地利用策について
 - ・耕作放棄地の利用策について
- 2 健康福祉行政について
 - ・クーリングシェルターの指定について
 - ・腎臓病予防について
- 3 交流基盤の整備について
 - ・こまちダム周辺の環境整備について
- 4 防災・交流事業について
 - ・廃校を活用した防災・交流拠点の整備について
- 5 防災行政について
 - ・市街地の浸水対策について
- 6 一般行政について
 - ・投票機会の拡充について
 - ・地域づくり協議会の設立に向けた取り組みについて
 - ・職員の人材育成について
- 7 町長の政治姿勢について
 - ・新年度予算編成方針について

中野 孝一 議員 8ページ

- 1 農業振興対策について
 - ・事業取り組みについて
- ◆ 2 集落営農組織等の設立について
- 2 幼児教育について
 - ・幼児教育の重要性について
 - ・「おのまち認定こども園」との連携について

會田 百合子 議員 9ページ

- 1 魅力あるまちづくりについて
 - ・情報発信の利活用について
- ◆ 2 一般行政について
 - ・道路脇の側溝について
 - ・自家用有償旅客運送の導入について





町立日本語学校の開設を前提ではなく 抜本的な見直しを

答

社会情勢の変化などを注視し日本語学校 開設の可能性を調査研究したいと考える

日本語学校の開設は地域の活性化などが期待される一方で、文化・制度の違いによる住民生活への影響、法的な責任、国の許認可、経営上のリスクなど多くの課題があります。

町が運営することでの経営悪化による最悪の事態も想定しなければなりません。海外相手の事業はリスクも大きく、不安定な海外情勢も心配されます。

唯一町立て日本語学校を開校している北海道東川町では、留学生の募集に際して海外に事務所を設けており、奨学金の支給も行っています。役場内には東川町多

民族への影響、法的な責任、国の許認可、経営上のリスクなど多くの課題があります。

町が運営することでの経営悪化による最悪の事態も想定しなければなりません。海外相手の事業はリスクも大きく、不安定な海外情勢も心配されます。

今後は現在の日本語教室の拡充を図りつつ、町内企業における外国人の雇用状況や社会情勢の変化などを注視しながら、日本語学校開設の可能性について調査研究したいと考えています。

日本語学校の開設は地域の活性化などが期待される一方で、文

化・制度の違いによる住民生活への影響、法的な責任、国の許認可、経営上のリスクなど多くの課題があります。

町長 東川町と当町では地理や社会資源など様々な面で相違があり、日本語学校の開設運営には法的財政面などにクリアしなければならない課題が多々あります。

ですが、難しいのではないでしょか。開校を前提とした検討ではなく、抜本的な見直しをしていただきたいと思います。

問 新聞報道で多くの養護教諭が長時間のデジタル端末使用は、将来児童・生徒に深刻な目の疾患や失明リスクにつながる可能性があると危惧しています。

町長 東川町と当町では地理や社会資源など様々な面で相違があり、日本語学校の開設運営には法的財政面などにクリアしなければならない課題が多々あります。

デジタル社会が進む

中、将来的に子どもたちの目のリスクを少しでも減らすためにも、学校・家庭双方での指導が必要かと思いますが、サポート体制について教育長にお伺いします。

教育長 文部科学省では、目をはじめとした健康への配慮をした上でICTの活用ガイドブックを作成し、家庭と連携した具体的な配慮事項や注意点を示し、子どもの目の健康を守るために、児童・生徒向けや保護者向けの分かりやすくと考

えています。

改善を促しているところです。

答

学校・家庭双方に資料の活用や指導、講話など健康全般の保持増進に努めている



緑川 久子 議員

教育委員会では、これらの資料を各学校に提供し、学級活動や保健の学習で活用・指導するよう促し、保護者にはリ

ークと考

えています。本町児童生徒の今年度の健診の結果は全国平均並みで、ここ数年改善の傾向がみられておりますので、引き続き児童生徒の目をはじめとした健康全般の保持増

すが、難しいのではないかとおもいます。

大変厳しい状況です

りません。調査研究をしながら、その中で出来ないと再考する考えはありませんが、今は進めたい

りりますが、今は進めたいと考えています。

問 小中学生のデジタル端末使用による目のリスクを減らすためのサポート体制は

学校・家庭双方に資料の活用や指導、講話など健康全般の保持増進に努めている

フレットの外に就学時健康診断の際に目の健康に係る講話も行っています。

各学校において、视力検査を含めた定期健康診断の結果は、児童生徒一人ひとりが県教育委員会発行の自分手帳に記入し、健康について自己覚を持たせ、生活習慣として身に付けていくことができます。治療等が必要な場合は保護者に通知し、改善を促しているところです。



会田 明生 議員



旧夏井一小跡地に水辺(MIZBE)ステーションの整備を



移譲や払い下げの検討と並行しながら調査を行っていく



旧夏井第一小学

図つてはいかがでしょ
うか。

校を有効に活用する
方法はないかと調べ
たところ、国土交通省
の資料に水辺ステー
ションという事業があ
ります。

水辺ステーション
は、有事には防災拠点
として、普段は地域活
性化や地域の賑わい
を創出するための施
設で、福島県内では登
録事例はありません。
地域にとって高い効
果を発揮するものと
期待されるMIZBE
ステーションの整備を

下げる検討を進めて
おり、有効活用に至つ
ていないのが現状で
す。

今後町では施設の
有効活用はもとより、
防災力の強化や観光
資源を生かした交流
人口を拡大するため
の取り組みなどによ
る地域づくりについて
も、検討を進めて行く
必要がある」とから、
提案いただいた平時
と災害時の機能を併
せ持ったMIZBEス
テーションを含め、移
譲や払い下げの検討
と並行しながら調査
を行つて参ります。



新年度予算編成方針についての考えは

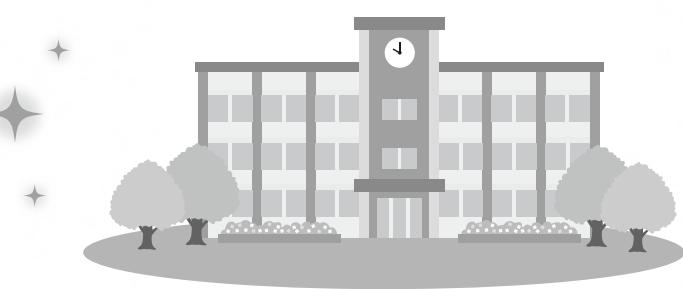


打てる手立てを講じて持続可能なまちづくりに全力で取り組む

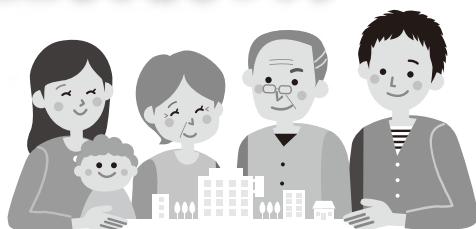


令和6年度は、町
長の任期最終年度と
なります。重視的に取
り組む分野・事業等、
将来像に向かって着実
に進むため、新年度の
予算編成にあたっての
考え方をお伺いします。

私が掲げた公
約並びに町の総合計
画で掲げる将来像「人
が輝き みんなでつ
くる しあわせおの
まち」の実現のため、
施策を着実に前進さ
せる」ことを念頭に、予
算編成においては、各
課等に対し新規事業
や既存事業の見直し
などを積極的に提案
するよう指示してお
り、打てる手立てを講
じて、持続可能はまち
づくりに全力で努め
て参ります。



みんなでまちづくり



課等に対し新規事業
や既存事業の見直し
などを積極的に提案
するよう指示してお
り、打てる手立てを講
じて、持続可能はまち
づくりに全力で努め
て参ります。



集落営農組織・農業法人等の設立で地域活性化を



農業生産法人の設立は重要であり、関係機関との連携により重点的に支援する

議会全体研修並びに行政調査において先進地視察を行い、主体は町民であり、住民・行政・事業者等の多様な主体による協働・連携がなければ、目標は達成されないと痛感しました。

地域農業の活性化を図るために、集落営農組織・農業法人等の設立が喫緊な重要な課題と考えますが、町の取り組みについて伺います。

地域農業の活性化を図るために、モデル地区となるよう引き続き支援を行っていくたいと考えております。

議会全体研修並びに行政調査において先進地視察を行い、主体は町民であり、住民・行政・事業者等の多様な主体による協働・連携がなければ、目標は達成されないと痛感しました。

議会全体研修並びに行政調査において先進地視察を行い、主体は町民であり、住民・行政・事業者等の多様な主体による協働・連携がなければ、目標は達成されないと痛感しました。



中野 孝一 議員

町長

集落営農組織等の設立に関する取り組みについては、農地の集積・集約化に加え、地域内外から農業の担い手を幅広く確保するために農業生

産法人の設立支援が重要です。

現在、農地の集積・集約化を進めるための基盤整備事業や農業生産法人設立のための支援を行つてお

り、これまでに浮金第二地区において農業生産法人が設立され

ていますので、モデル地区となるよう引き続き支援を行つてまいります。



幼児教育の重要性について 町の取り組みは

各種事業に取り組んでいる

た取り組みが特に重

要であり、町としても

自ら主体性をもつて農

業に取り組む団体及

び認定農業者に対し

て、引き続き県やJA

などの関係機関との

連携を図りながら、重

点的に支援を行つて参

ります。

性については、文部科学省中央教育審議会の初等中等教育分科会の資料「子ども・子育てに関する理念等について」として、ホームページに掲載されていますが、町の取り組みについての考え方を伺います。

町長 町では、基本理念として「すこやか・はぐくみ・あんしん小野町」を掲げ、幼児期の教育・保育の充実のための各種施策に取り組んでおります。リズム運動や外国



語教室、自然活動を行

うための講師を町内

2カ所の幼児施設へ

派遣するほか、親子で

の製作・自然活動など

各種事業を行つてお

り、今後も幼児期にふ

さわしい教育の確保

と、充実が図れるよ

う、様々な事業を実施して参ります。

町の取り組みは



會田 百合子 議員



町から発信された情報を町民が 利用できるようにしてはどうか



公式ウェブサイトやSNS等のほか、 スマートフォンの活用による提供も進める



問 魅力あるまちづくりのために、情報発信は大切なものであり、この発信された情報をお相手の方が利用できるようにしてみてはどうでしょうか。

町の公式サイト等に町民歌を掲載しいつでも聞くことができるようになることも情報発信のひとつです。

町長 情報の発信について、デジタル化の進展や町民ニーズの変化等も踏まえ、様々な媒体において情報発信の拡充を図っています。

今後は町民の皆様がスマートフォンを活用し、町の情報を収集、発信や利用ができるよう閲覧者の利便性に考慮した情報の提供を積極的に進め参ります。

将来的に地域公共交通を維持するための手段の一つとなると思われる、自家用有償旅客運送制度も導入してはどうですか。

現在、「小野町地域公共交通計画」の策定を進めていくところであります。既存の交通事業者を活用した利便性が高い持続可能な公共交通の実現を計画に位置づけ、住民や地域の関係者と協働で

問 運転をする必要がなくなりたことや運転に自信がないなど理由により、運転免許証を返納する方が限られてしまい、病院や買い物など日常生活に不便が生じることも多いと思います。

町長 自家用有償旅客運送につきましては、将来的にバス・タクシー事業者が収益悪化や運転手不足などにより、輸送サービスを提供することが難しい状況となれば、導入の検討が必要と考えております。



既存の公共交通機関が 困難な状況になれば検討する



地域公共交通の維持するため 自家用有償旅客運送を導入してはどうか

地域の特性や実情に応じた最適な移動手段の維持・確保に向けて取り組みを進めて参ります。

地域の特性や実情に応じた最適な移動手段の維持・確保に向けて取り組みを進めて参ります。

議会活動トピックス

宮城黒川地方町村議会議長会との意見交換 (10月31日)

宮城黒川地方町村議会正副議長・事務局長のみなさんが視察研修に来町されました。

黒川地方の町村議会議長会は松島町・七ヶ浜町・利府町・大和町・大郷町・大衡村の5町1村にて構成されております。今回の研修では、議会基本条例の概要、住民との意見交換会、子ども議会や夜間議会の開催状況、今年度の常任委員会の活動内容等について意見交換を行いましたが、そのほかにも各町村の事業内容や検討事項、委員会活動等について各議長より活発な意見交換が出されました。



議会活動について活発な意見交換を交わす



黒川地方町村議会議長会のみなさんと

町の行政区長会と小野町議会の 意見交換会を開催(10月31日)

小野町行政区長会と「議員のなり手不足解消について」をテーマに意見交換を行いました。ご意見等は、今後の議会活動や町政への提言に生かしていきます。



グループごとに活発な意見交換が行われる



議会活動日誌

11月

- 9日～11日 水サミット（北海道東川町）
13日 全国過疎連盟第56回総会／ふくしま駅伝大会激励金交付式
14日 月例全員協議会／第3回都市計画マスターPLAN策定委員会
16日 新庁舎建設等検討特別委員会視察（茨城県大子町）
19日 第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会応援
第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会報告会
20日～22日 定期監査
22日 例月出納検査
23日 小野町功労者表彰式
24日～25日 全国発酵サミット（岐阜県恵那市）
27日 小野町職員永年勤続表彰式／第50回老人作品展表彰式
29日 全国町村議會議長会全国大会（東京都）
30日 議会運営委員会

12月

- 3日 第40回町長杯武道（柔道・剣道）大会
4日 全員協議会／マスターPLAN策定委員会
7日～13日 小野町議会定例会12月会議
13日 月例全員協議会
25日 例月出納検査／令和5年度定期監査結果報告
はーとらいふ小野10周年記念式典
27日 小野町地方総合病院企業団議会第4回定例会

1月

- 4日 小野町消防出初式／新年交礼会
6日 小野町新年交通安全祈願祭
7日 令和6年小野町二十歳の集い
11日 月例全員協議会
25日 例月出納検査／たむらリサイクルプラザ竣工式（田村市）
26日 東邦あぶくま睦会総会
27日 筆星会新年会
28日 夏井諏訪神社節分祭／小野町建築家具組合新年会

議会からのお願い

議会だよりの取材のため、腕章をつけた広報編集委員会の
委員が、お伺いしますので、ご理解・ご協力をお願いします。

令和6年
2月28日発行

177号

発行者／福島県小野町議会
編集／議会広報編集委員会

〒963-3492
福島県田村郡小野町大字小野新町字館廻92
0247-72-6930

議会からの お知らせ

定例会3月会議は

3月7日(木)から開会します。

一般質問は3月8日(金)の予定です。傍聴をお待ちしています。

- 座席数の関係で入場できる人数に制限がありますので、ご理解とご協力をお願いします。
(※傍聴席でのマスク着用は任意となります)
- 傍聴席が満席の場合は、会議室でのテレビ視聴となる場合があります。
- 一般質問の様子をYouTubeによる動画配信をいたします。

※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(0247-72-6930)

議会の改選に伴い、新たな議会広報編集委員会の活動がスタートしました。
議会だよりの紙面づくりを工夫しながら、町民の皆様の身近なものになるよう心がけてまいります。

取材にも訪問させていただきますので、
ご理解とご協力をよろしくお願いします。

小野町議会広報編集委員会委員長

田村 弘文

QRコードから
アクセス
してください



マチイロ

スマホ用アプリ

配信しています！

より多くの皆さんに「おのまち議会だより」をお届けできるよう、スマートフォン用無料広報誌アプリ「マチイロ」で配信をしています。
ぜひ、ご覧ください。

小野町議会

【小野町議会広報編集委員会】

委員長	田村 弘文
副委員長	中野 孝一
委員	先崎 勝馬
委員	緑川 久子
委員	會田百合子
委員	羽生 洋市
委員	國分 順一
委員	橋本 善雄

・・広報編集委員会です！・・



【左から】

橋本委員 羽生委員 緑川委員 中野副委員長 田村委員長 先崎委員 會田委員 國分委員



この印刷物は、FSC®の基準に従って
認証された適切に管理された森からの
木材を含んだ用紙で印刷されています。

小野町議会

検索

小野町議会のホームページも
ご覧ください